

## 答辞

監督・コーチの皆様、審判部の皆様、母集団の皆様、僕たちのために、いろいろなことをやって下さりありがとうございました。どうぞございます。支えて下さったおかげで入団してからとても楽しく野球が続けられました。

僕は、四年生のはじめに入団しました。そのころは、まともにボールを投げることや、とることができませんでした。でも、今では背番号5をもっています。ここまで出来るようになったのも、監督・コーチのおかげです。監督・コーチはまともにキャッチボールやバットがふれなかった僕に、ボールを取る姿勢や投げる姿勢、バットの振り方やかまえ方など、一つ一つの事をていねいに何度でも教えて下さったから今の自分がいると思います。これからもこれまで習ってきた基本を大切に、これからのプレーに生かしていきたいと思っています。

僕は、中学、高校でも野球を続けようと思っています。蘇一野球は、試合でなかなか勝てませんでした。僕は、「その勝利」というのを求めるために野球を続けるのか

もしれません。でも、野球が好きだから続けるというの  
は確かだとおもいます。

これから何が起るか、野球でいうと次のプレーと  
いうのをこれからの人生の中でいつも考えていきたい  
と思います。

ありがとうございます。ありがとうございました。

平成二十九年三月四日

蘇原第一野球

加藤

裕大